

高根の神輿

瑞穂町有形民俗文化財

所在地：瑞穂町高根 94 番地 8



瑞穂町元狭山地区高根に伝わる神輿で、2年に1度7月中旬に行われる祭礼において、同地区の鎮守である高根神社より御霊代を受け、^{みたましろ}渡御に用いられています。制作者および制作年代は、それを示す史料が残されていないため明らかではありませんが、明治初年頃に制作されたと推測され、江戸末期から明治にかけて活躍した地元在住の宮大工、伊東清右衛門^{いとうせいえもん}の作と伝わっています。この神輿には^{かざり}銚金具の装飾が一切施されていませんが、^{しんばしら}親柱には「鳳凰」

「龍」「寅」「亀」の彫り抜きが施され、他に見られない独自性の高い造形美を有しており、寺社建築技術と木彫りの粋が結集された神輿と言えます。令和元年度には「令和の大修理」が行われ、建造当時の姿を忠実に再現する形で、経年劣化した部位の修復が行われました。